

令和元年度 決算報告書

国立大学法人福岡教育大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,465	3,546	81	(注1)
施設整備費補助金	435	461	26	(注2)
補助金等収入	—	—	—	
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	22	22	—	
自己収入	1,806	1,624	△ 182	
授業料及入学金検定料収入	1,723	1,519	△ 204	(注3)
財産処分収入	—	16	16	(注4)
雑収入	83	89	6	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	106	93	△ 13	(注5)
引当金取崩	—	—	—	
目的積立金取崩	—	65	65	(注6)
計	5,834	5,811	△ 23	
支出				
業務費	5,271	5,033	△ 238	
教育研究経費	5,271	5,033	△ 238	(注7)
施設整備費	457	483	26	(注8)
補助金等	—	—	—	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	106	93	△ 13	(注9)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	4	4	(注10)
計	5,834	5,613	△ 221	
収入-支出	0	198	198	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金の決算額は、前年度からの繰越額を含みます。このため、予算額に比して決算額が81百万円多額となっています。

(注2) 施設整備費補助金については、予算段階において予定していなかった補助金の交付等により、予算額に比して決算額が26百万円多額となっています。

(注3) 授業料及入学金検定料収入については、予算額に授業料免除予定額(204百万円)を含みます。このため、予算額に比して決算額が204百万円少額となっています。授業料免除予定額を除外した場合、予算額と決算額はほぼ同額となります。

(注4) 財産処分収入については、予算段階において予定していなかった土地の売却等により、予算額に比して決算額が16百万円多額となっています。

(注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、見込みと実績の差等の理由により、予算額に比して決算額が13百万円少額となっています。

(注6) 目的積立金取崩については、予算段階において予定していなかった目的積立金の取り崩しにより、予算額に比して決算額が65百万円多額となっています。

(注7) 教育研究経費については、予算額に授業料免除予定額(204百万円)を含みます。このため、予算額に比して決算額が238百万円少額となっています。授業料免除予定額を除外した場合、各部局による執行計画の見直し等の理由により、予算額に比して決算額が34百万円少額となります。

(注8) 施設整備費については、注2に示した理由により、予算額に比して決算額が26百万円多額となっています。

(注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、注5で示した理由等により、予算額に比して決算額が13百万円少額となっています。

(注10) 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金については、注4で示した理由等により、予算段階において予定していなかった納付金が発生し、予算額に比して決算額が4百万円多額となっています。